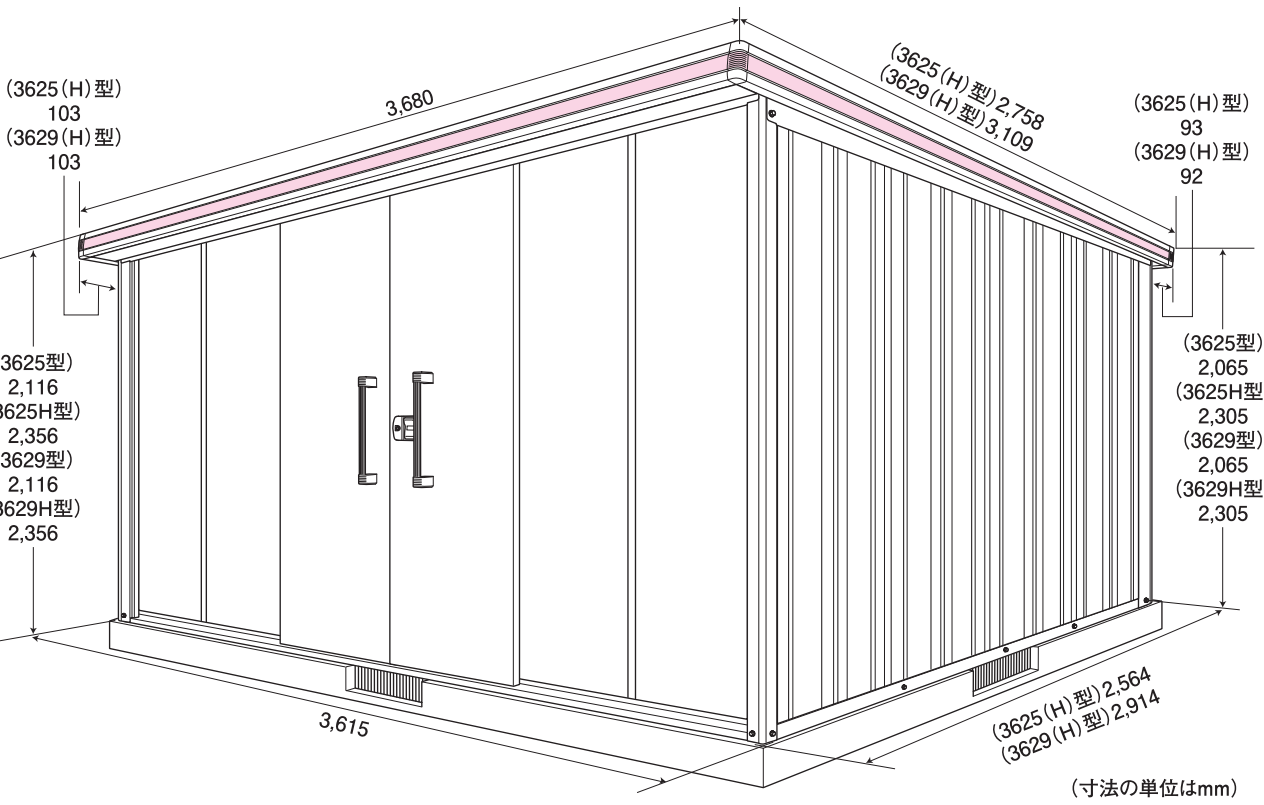


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-3625型・3625H型・3629型・3629H型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「3629」の組立手順を基本に説明しています。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

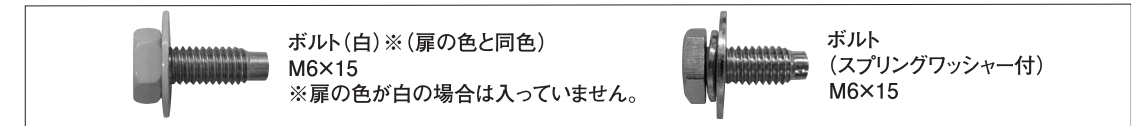
●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手 ・水準器 ・脚立

●使用ビス一覧



基礎の施工について

●基礎工事に必要なもの

・アンカーボルト (市販品) ・内アンカーセット (オプション 梱包番号: LM5-6741)

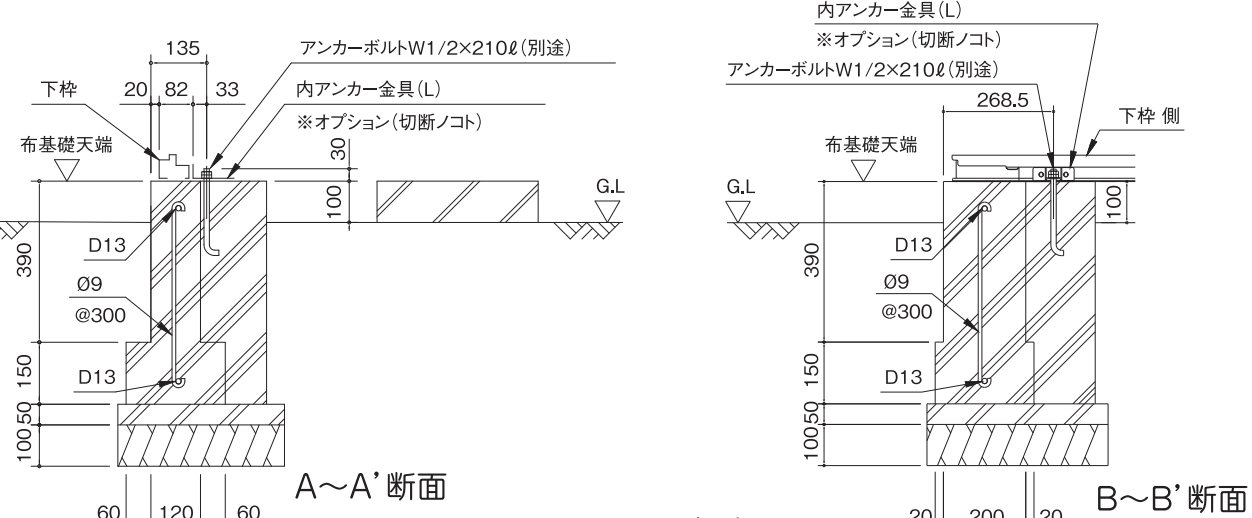
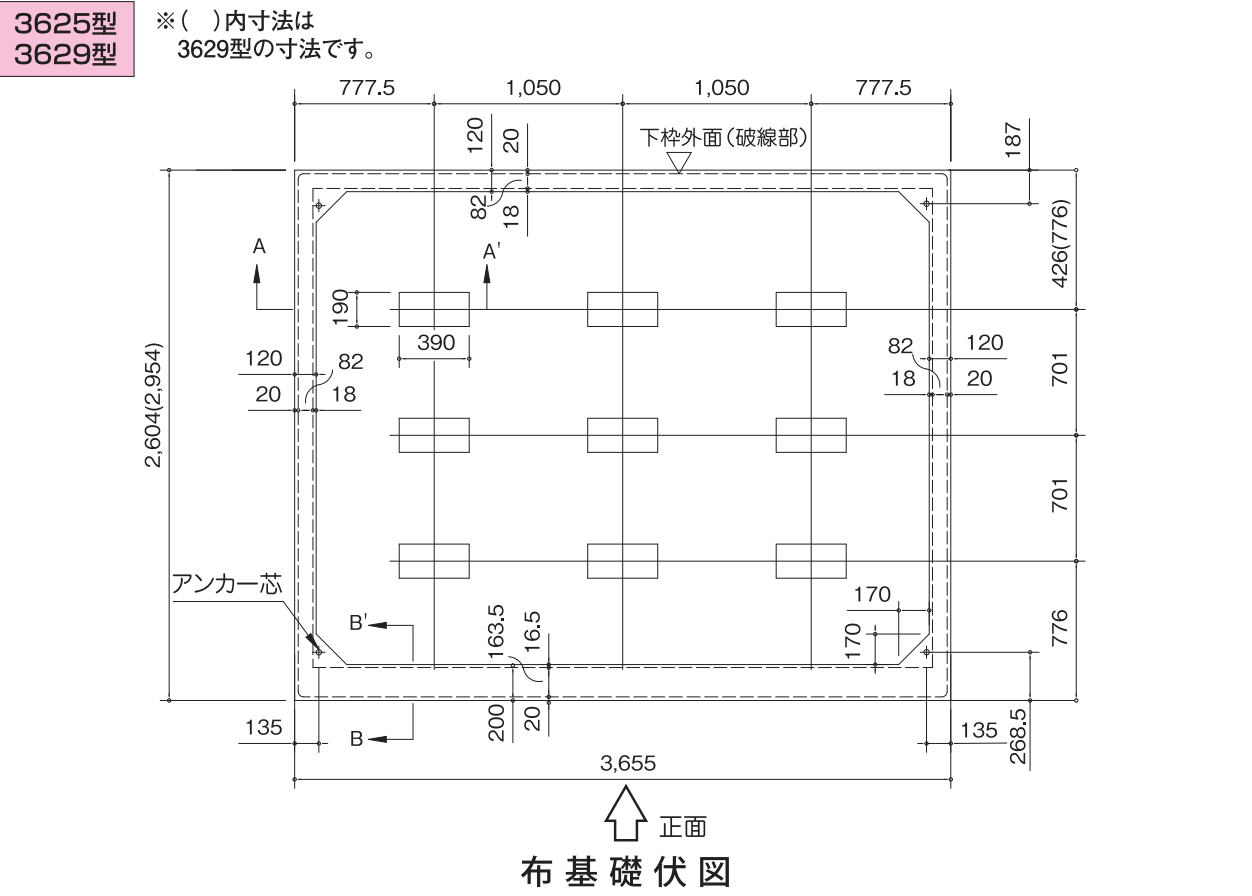
●施工手順

1基礎施工

- ①下記の寸法を参考に布基礎を施工してください。ブロック基礎の場合は別紙梱包組合せ表「(参考)ブロック基礎の場合」をご参照願います。
(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)

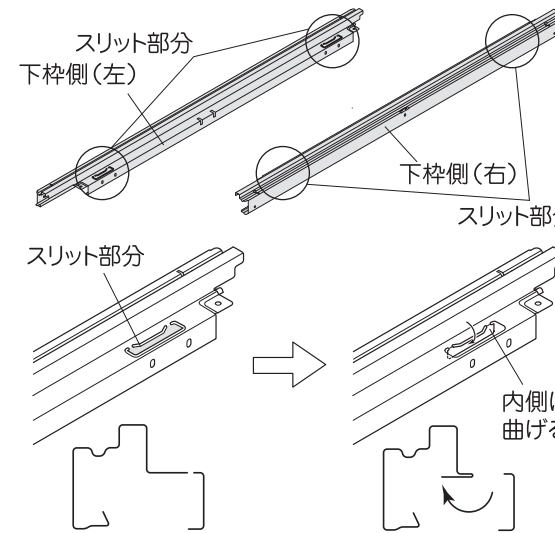
注意 地耐力が50kN/m²未満(30kN/m²以上)場合、底盤幅を300mmとしかつ補助筋を入れて下さい。寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

注意 基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない・扉がスムーズに動かない。・鍵が掛からない。



1-1 スリット孔の加工

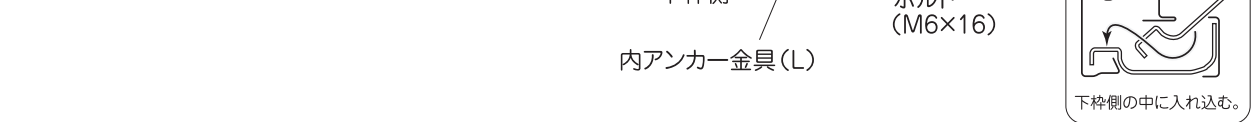
- ①下枠側両端のスリット部分を折り曲げます。(4か所)



注意 切断面でケガをする恐れがありますのでベンチ等工具を使って折り曲げてください。

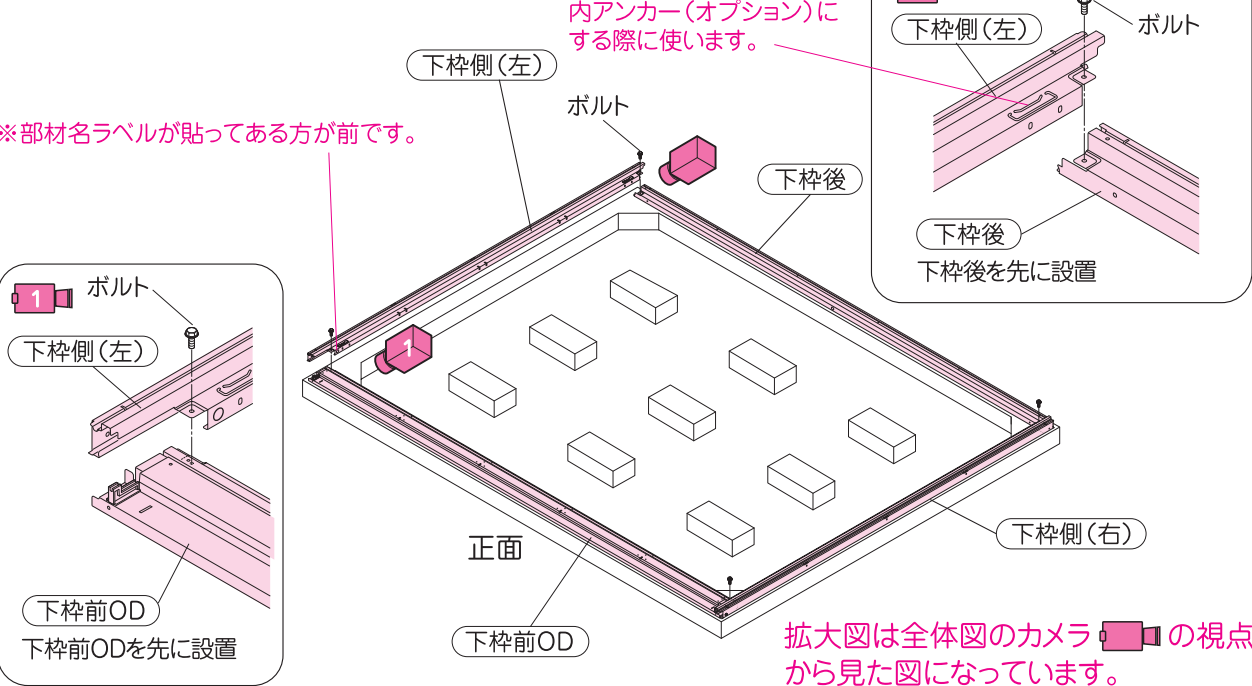
1-2 内アンカー金具(L)及びアンカープレート(L)の加工

- ①内アンカー金具(L)を4本とも図の位置で切断します。
②切断した面を補修スプレーで塗装します。
③本体付属のアンカープレート(L)も同様に加工します。



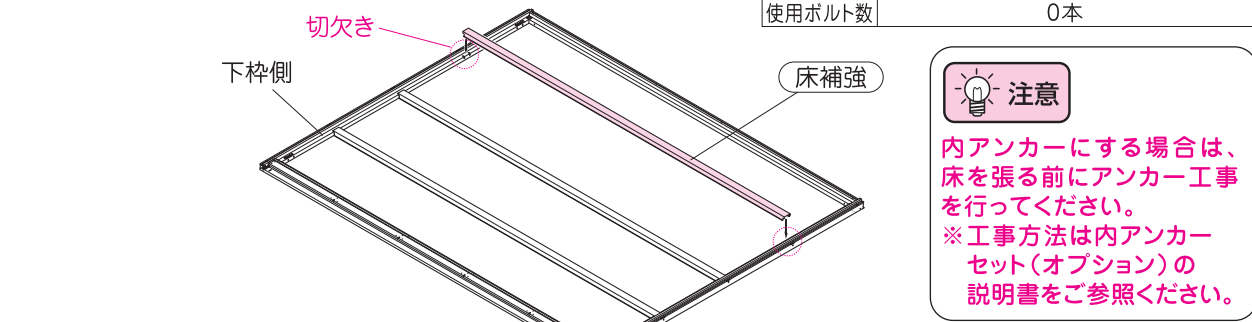
2下枠の組立

- ①下枠前OD・下枠後をコンクリートブロックの上に設置します。
②下枠側を 下枠前OD・下枠後 の上から設置して4隅をボルト止めします。

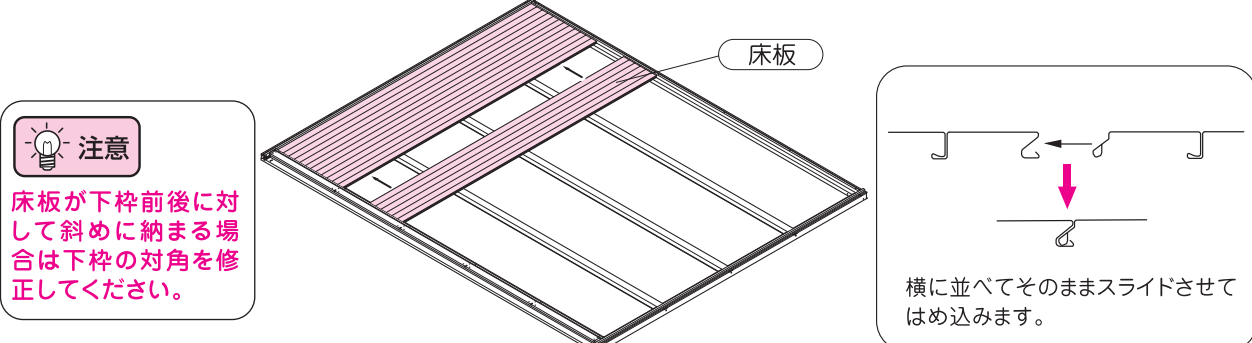


3床の設置

- ①(床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。

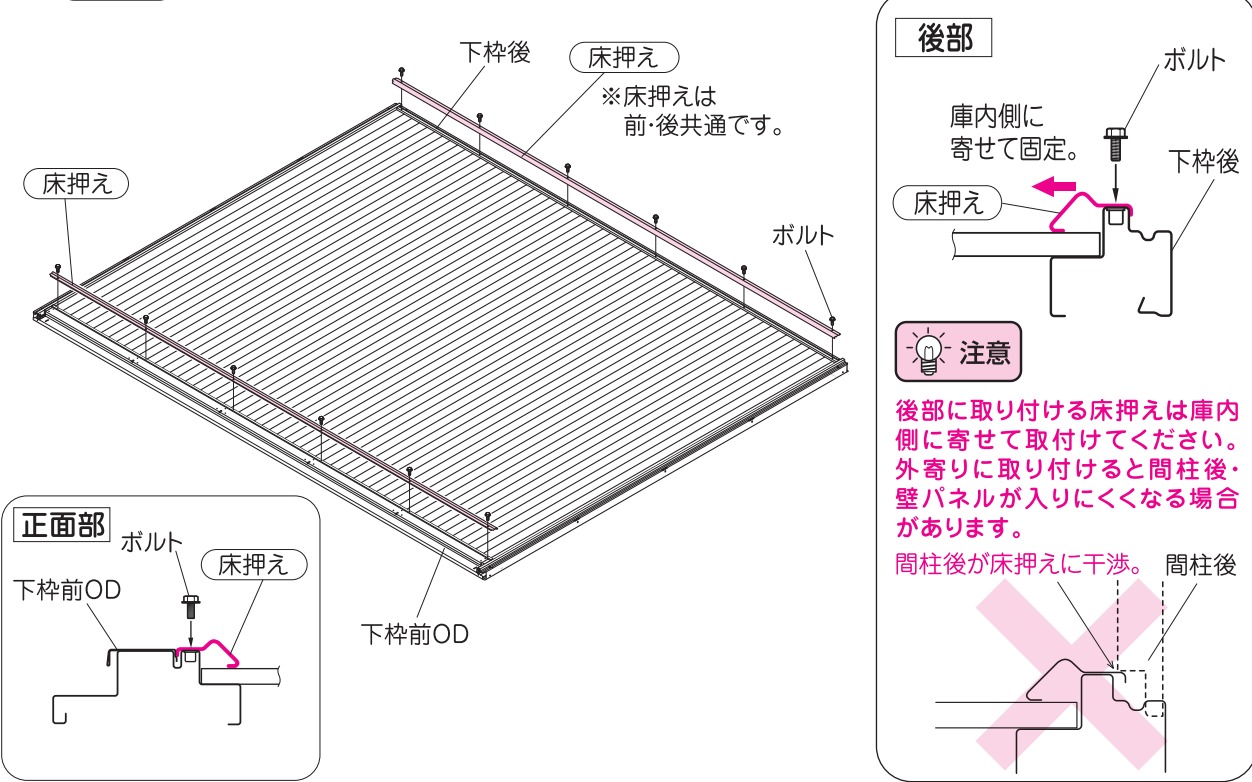


- ②(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。



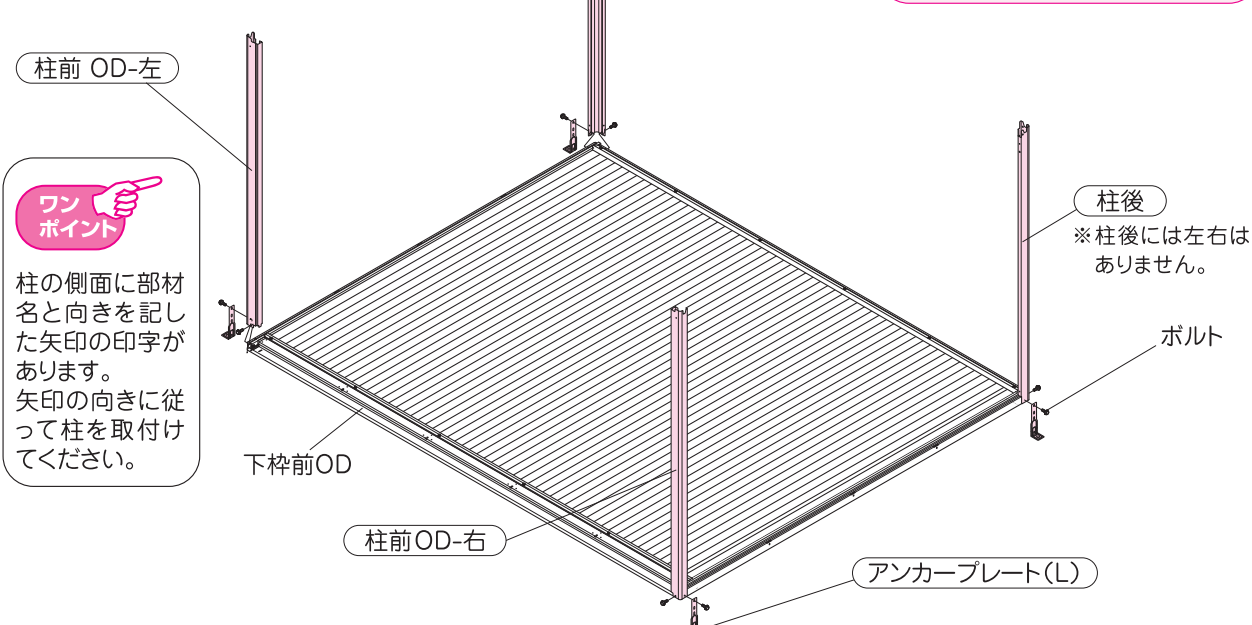
4床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前OD・下枠後に取付けます。



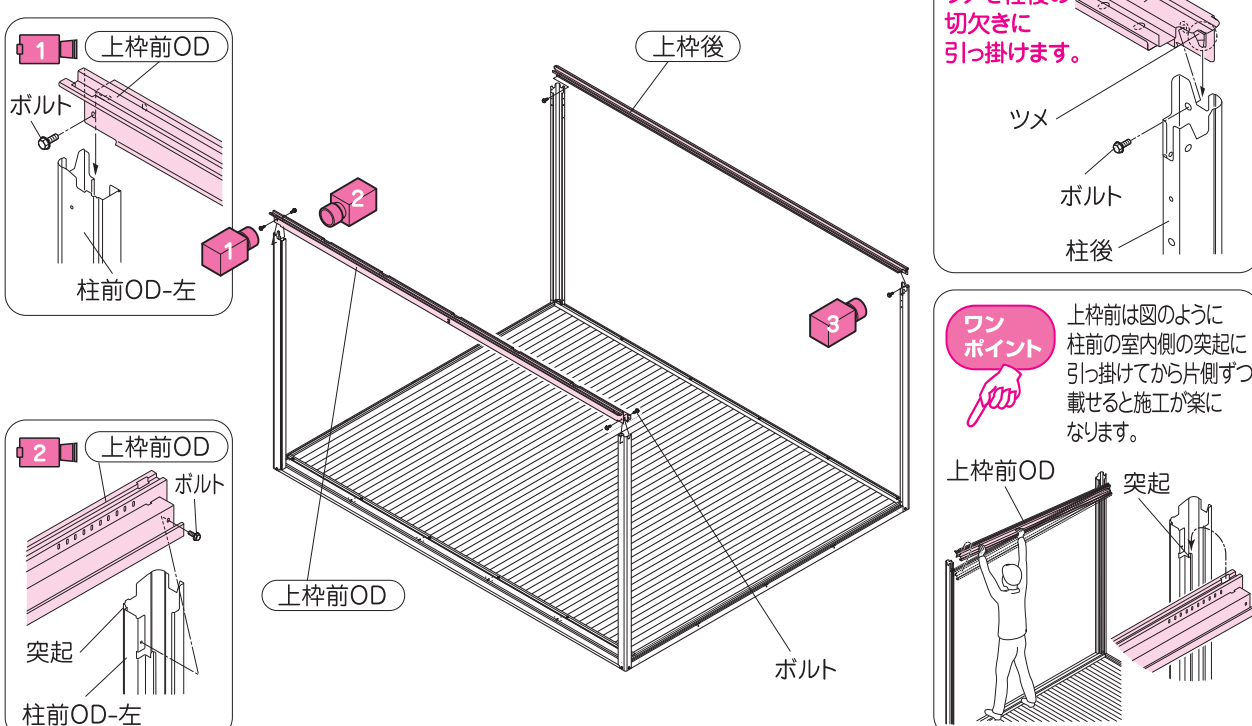
5柱の取付け

- ①(柱前OD)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を下枠側右・左にボルト止めします。



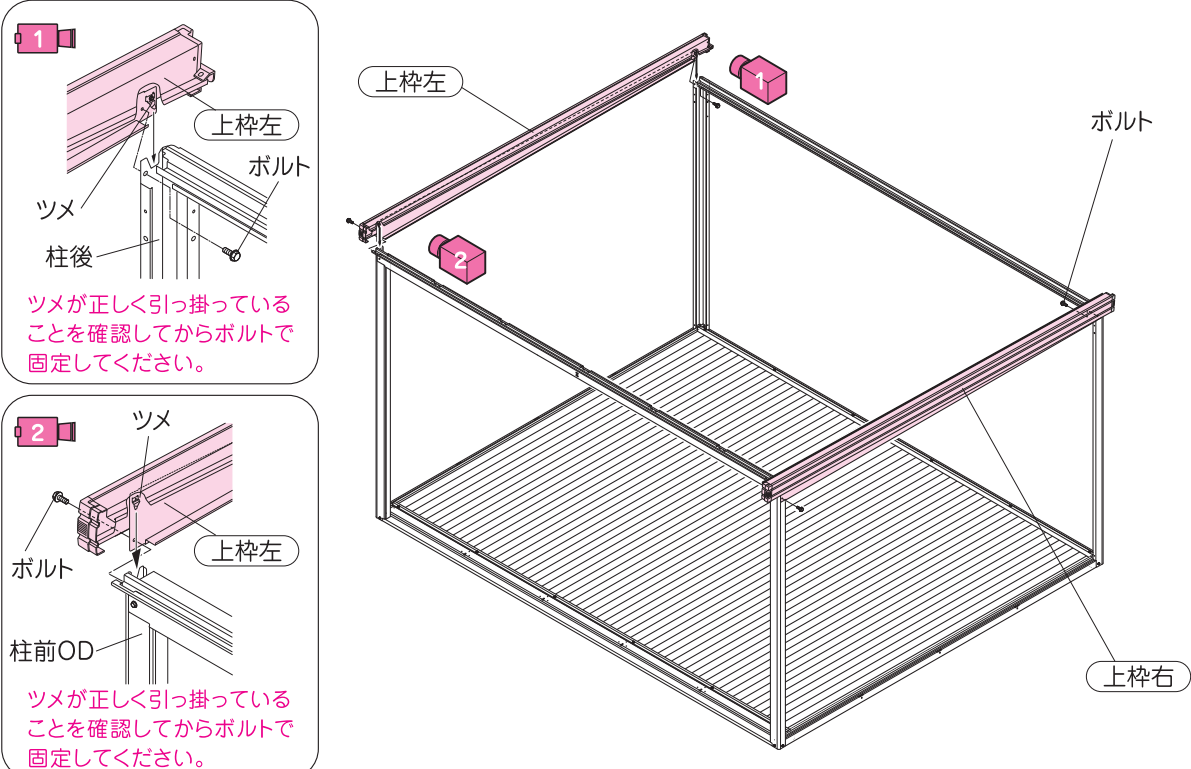
6上枠前後の取付け

- ①上枠前ODを柱前ODの突起に差し込んでボルト止めします。
②上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



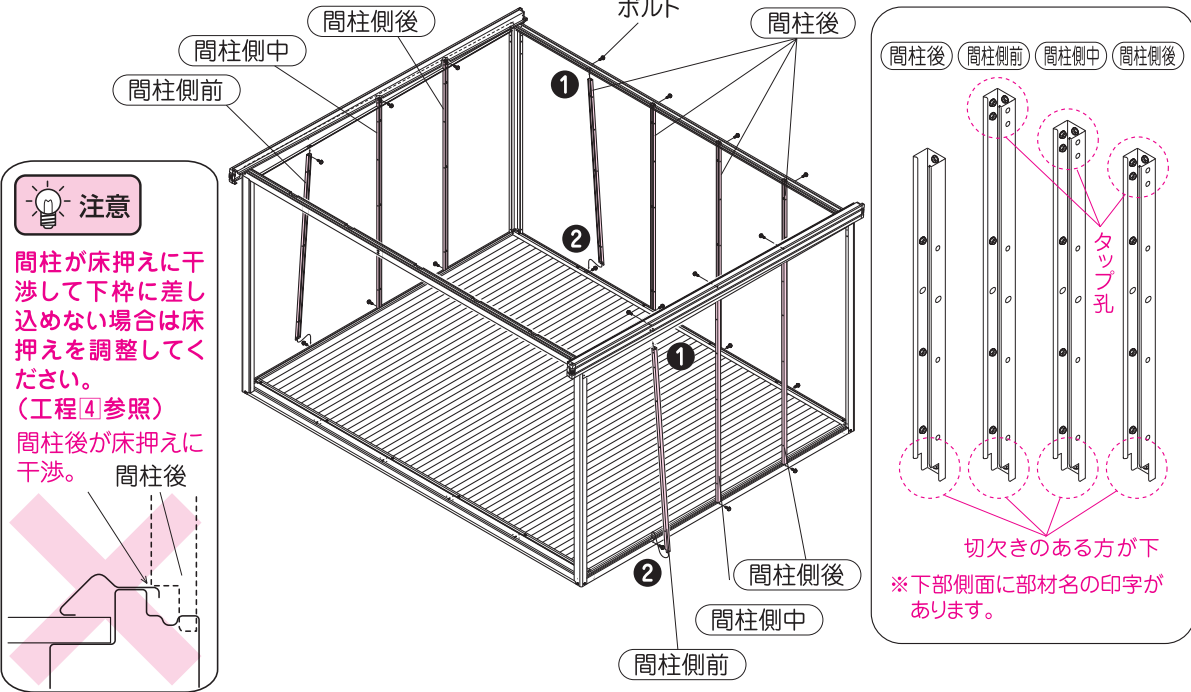
7上枠左右の取付け

- ①上枠左・上枠右を柱に取付けます。



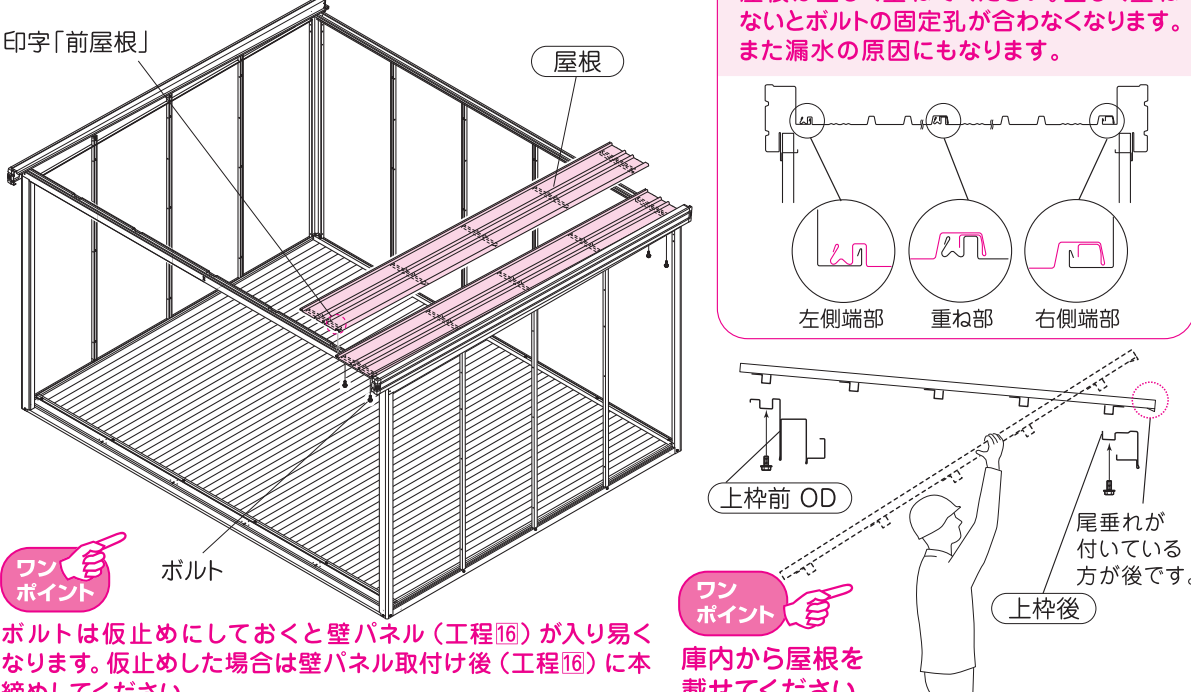
8間柱側・後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②(間柱側)も同様にして取付けます。



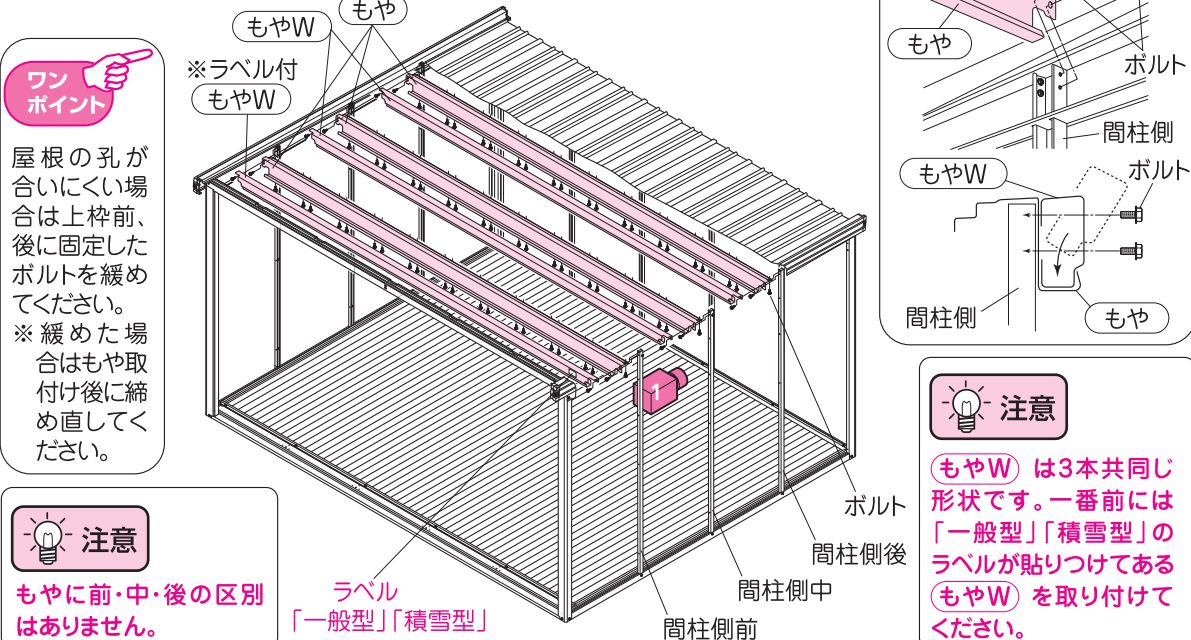
9屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



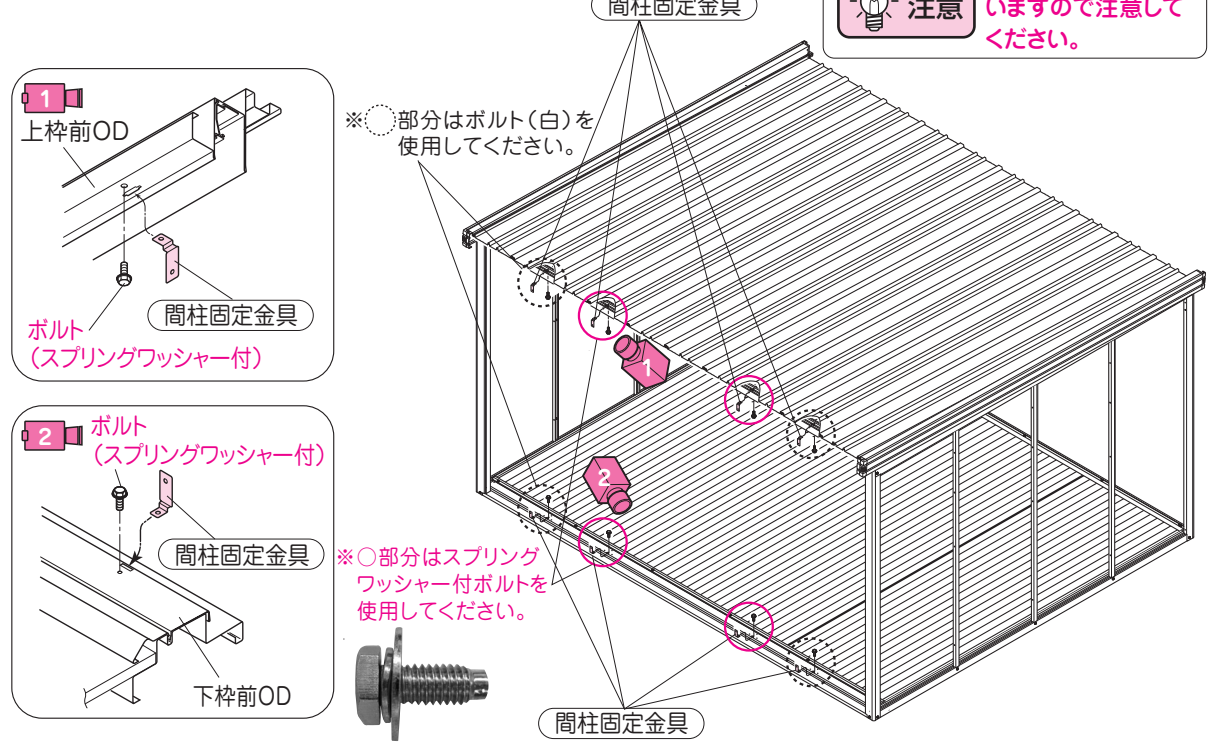
10もやの取付け

- ①(もや)を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
②正面から(もやW)を(もや)に落とすこみボルト止めします。
③(もや)と屋根をボルト止めします。



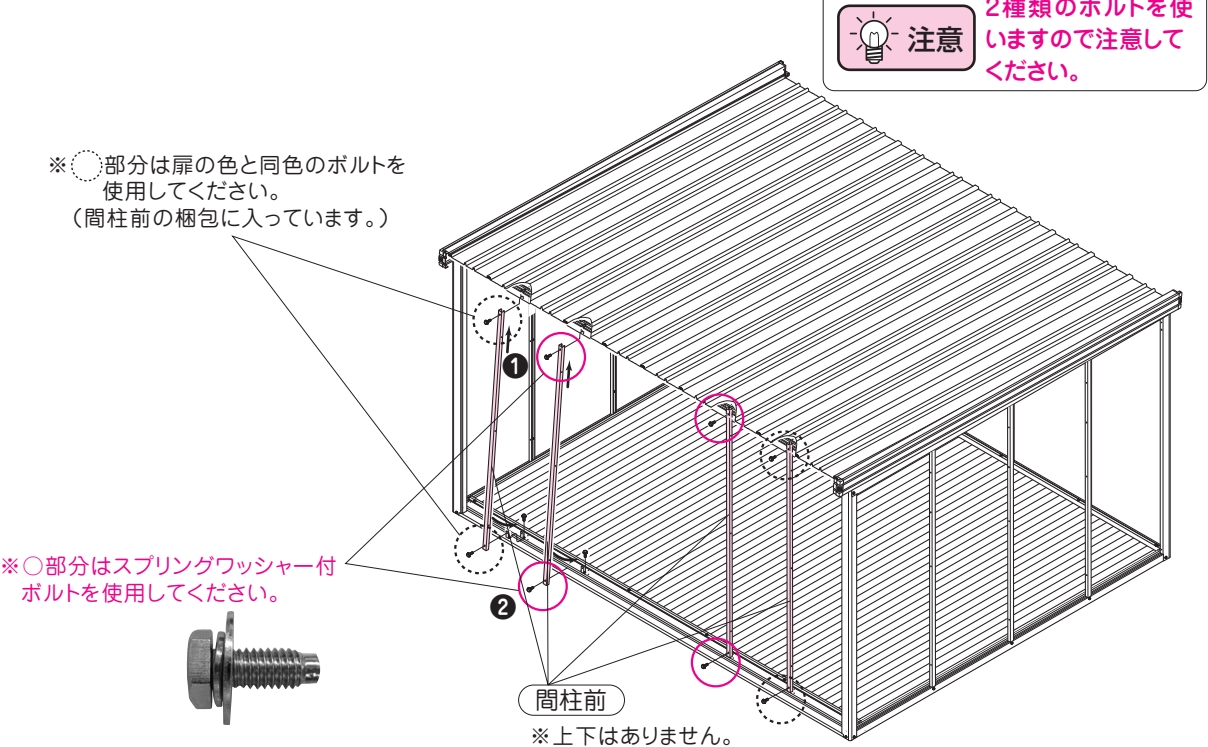
11 間柱固定金具の取付け

- ① 間柱固定金具を上枠前、下枠前それぞれに差し込み
ボルト止めします。**1** **2**



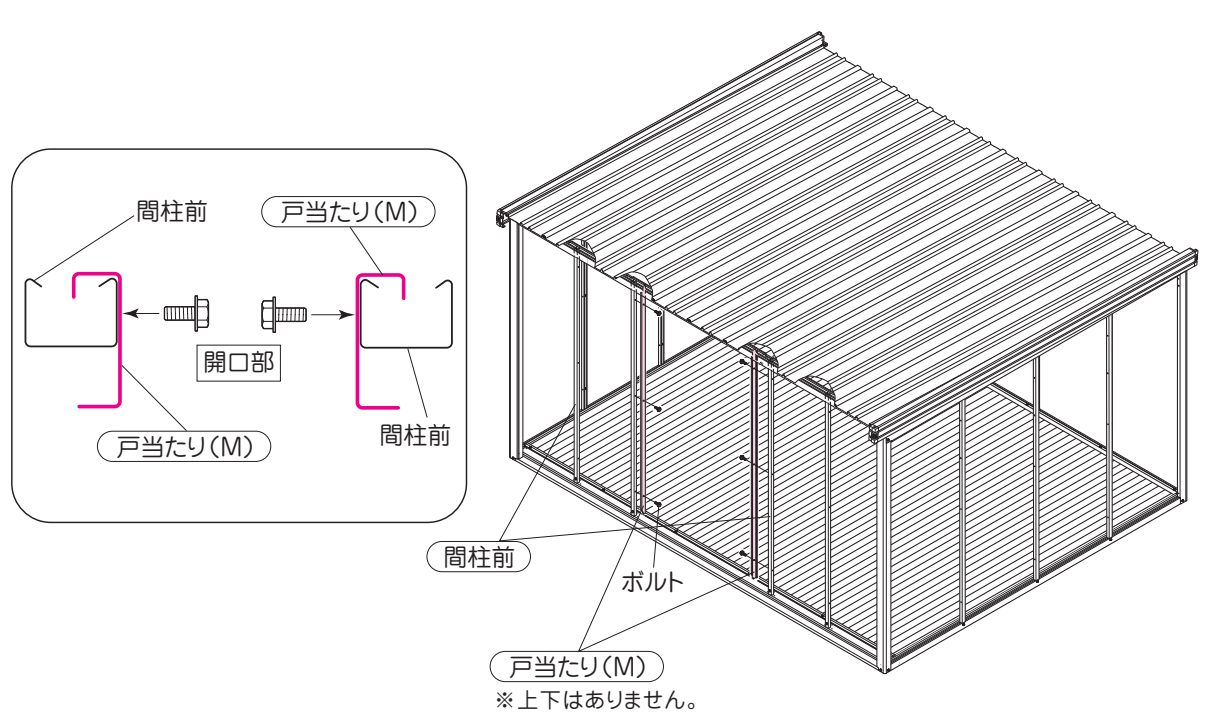
12 間柱前の取付け

- ① 間柱前を間柱固定金具にボルト止めします。
(上を先に入れて次に下を入れます。)



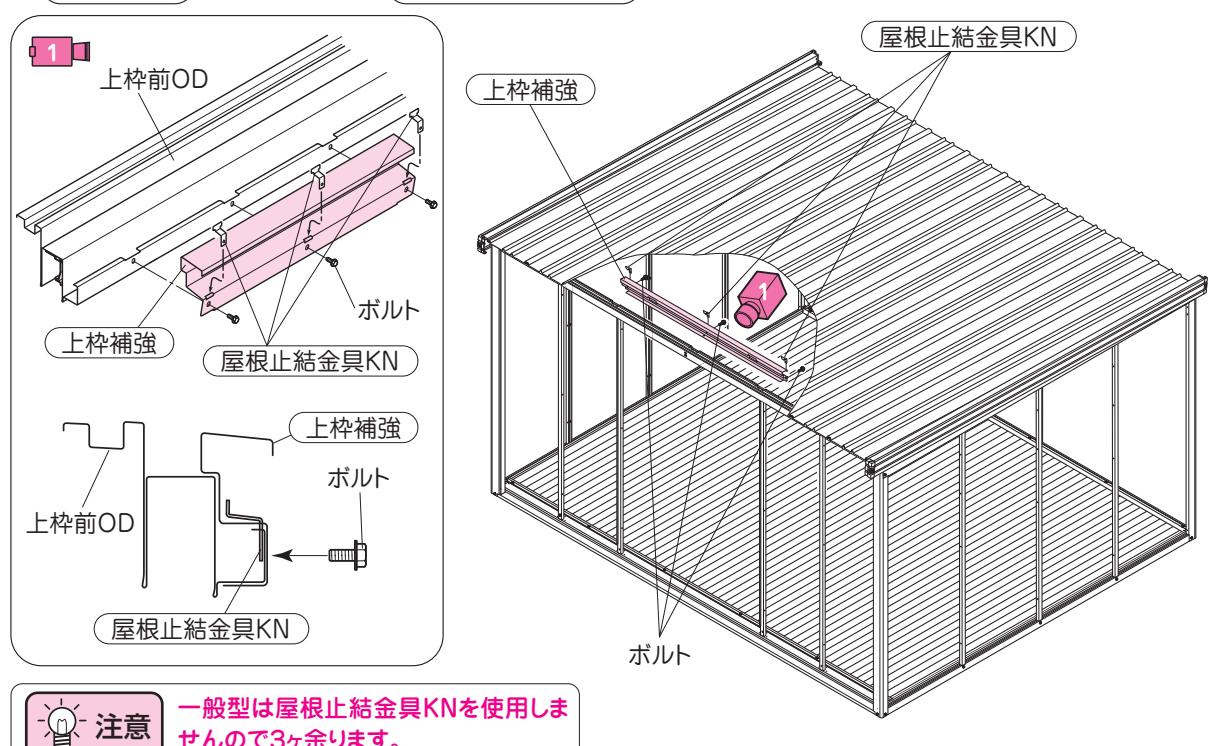
13 戸当たりの取付け

- ① 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程18参照



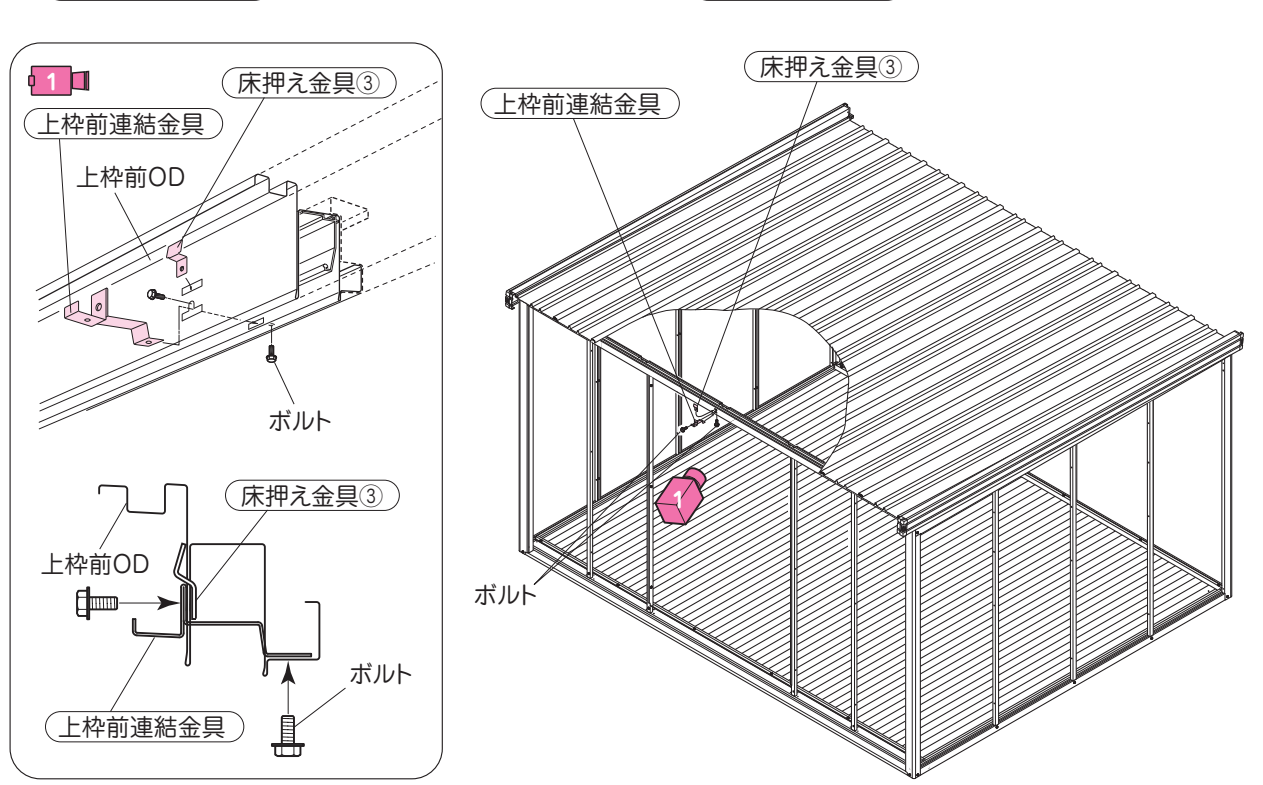
14 上枠補強の取付け(積雪型のみ)

- ① 上枠補強を上枠前ODに 屋根止結金具KN とボルトで固定します。**1**



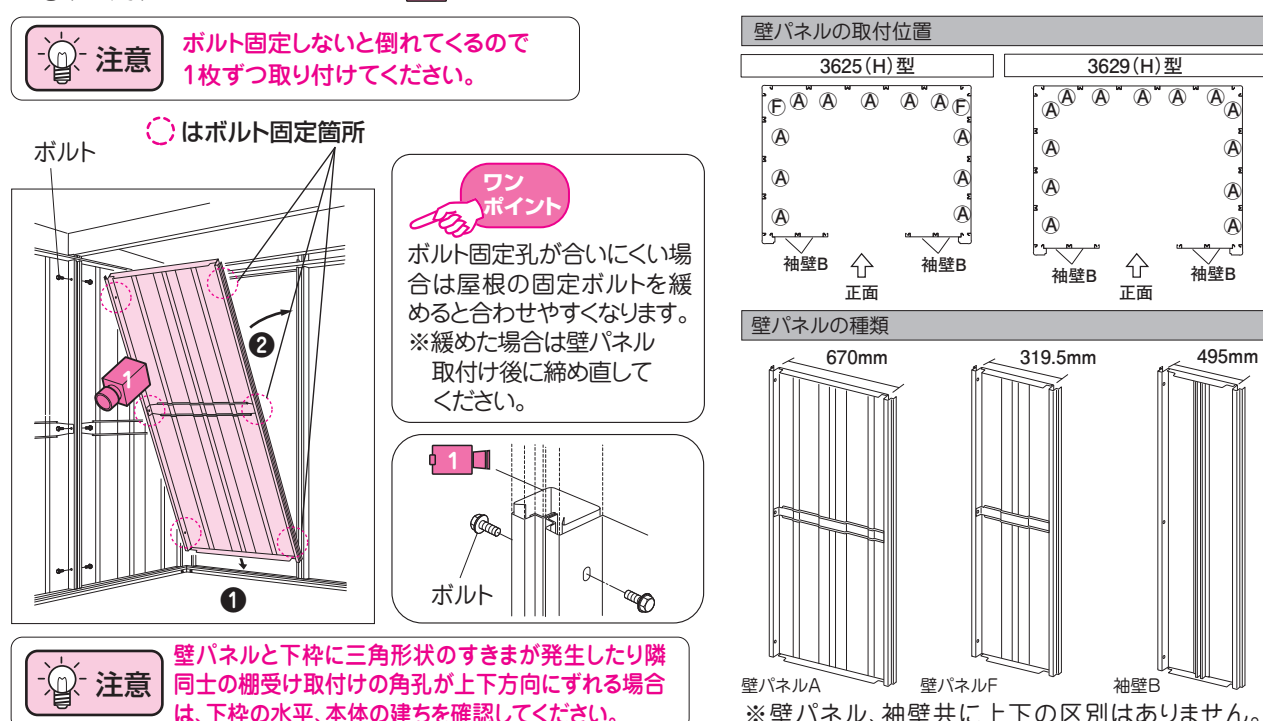
15 上枠前連結金具の取付け

- ① 上枠前連結金具を上枠前ODの中央に差し込み、床押え金具③とボルトで固定します。**1**



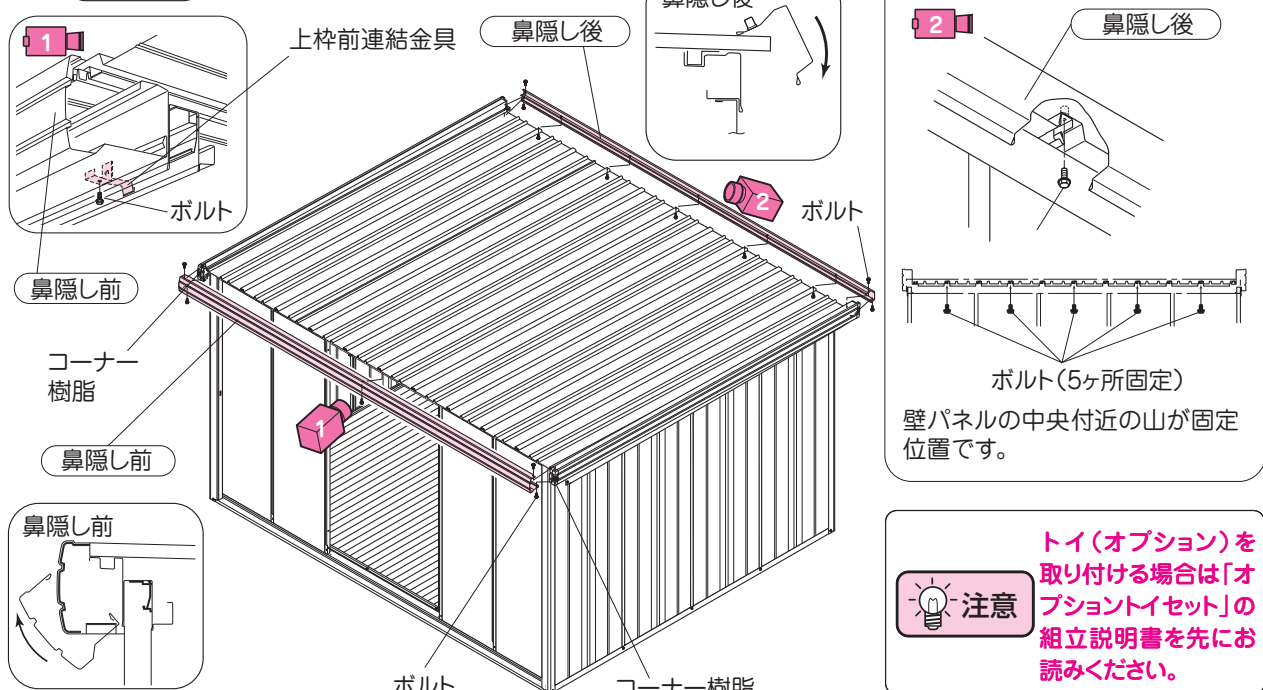
16 壁パネル・袖壁の取付け

- ①室内から(壁パネル・袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。**1**



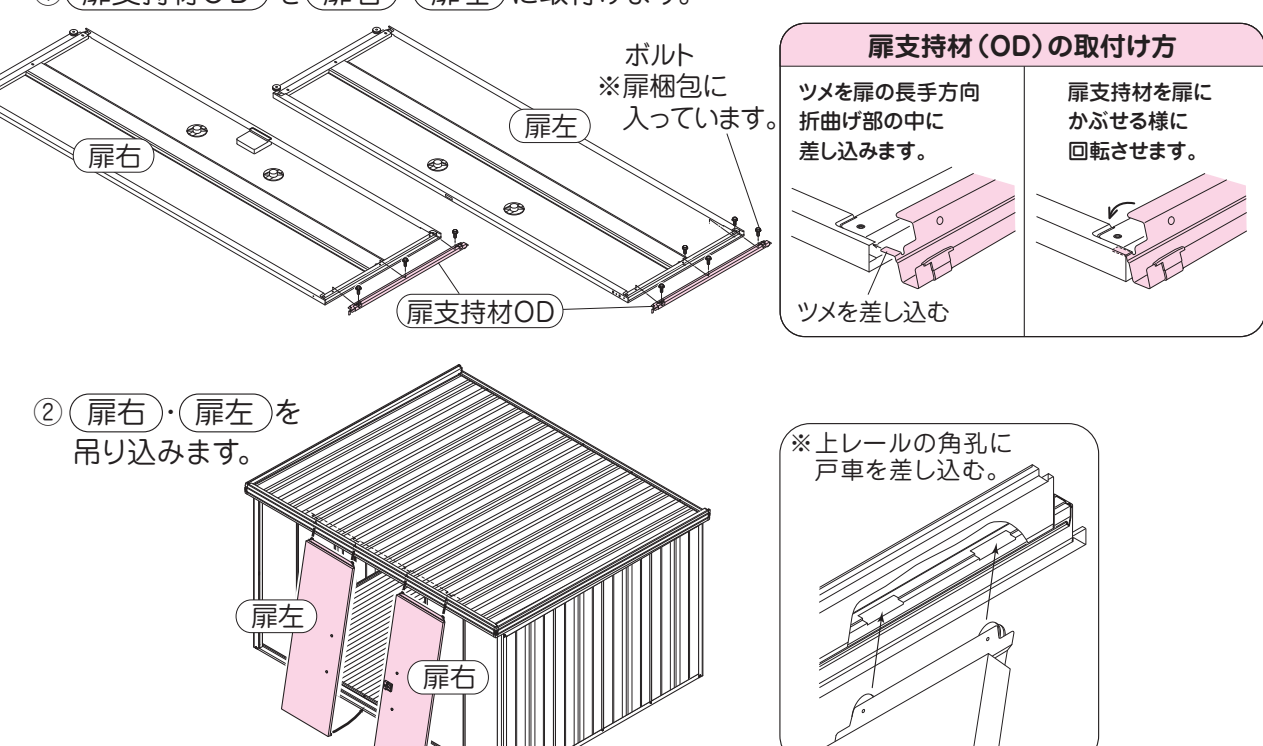
17 鼻隠しの取付け

- ① (鼻隠し前・鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
② (鼻隠し前)の中央を上枠前連結金具にボルト止めします。**1**
③ (鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。**2**

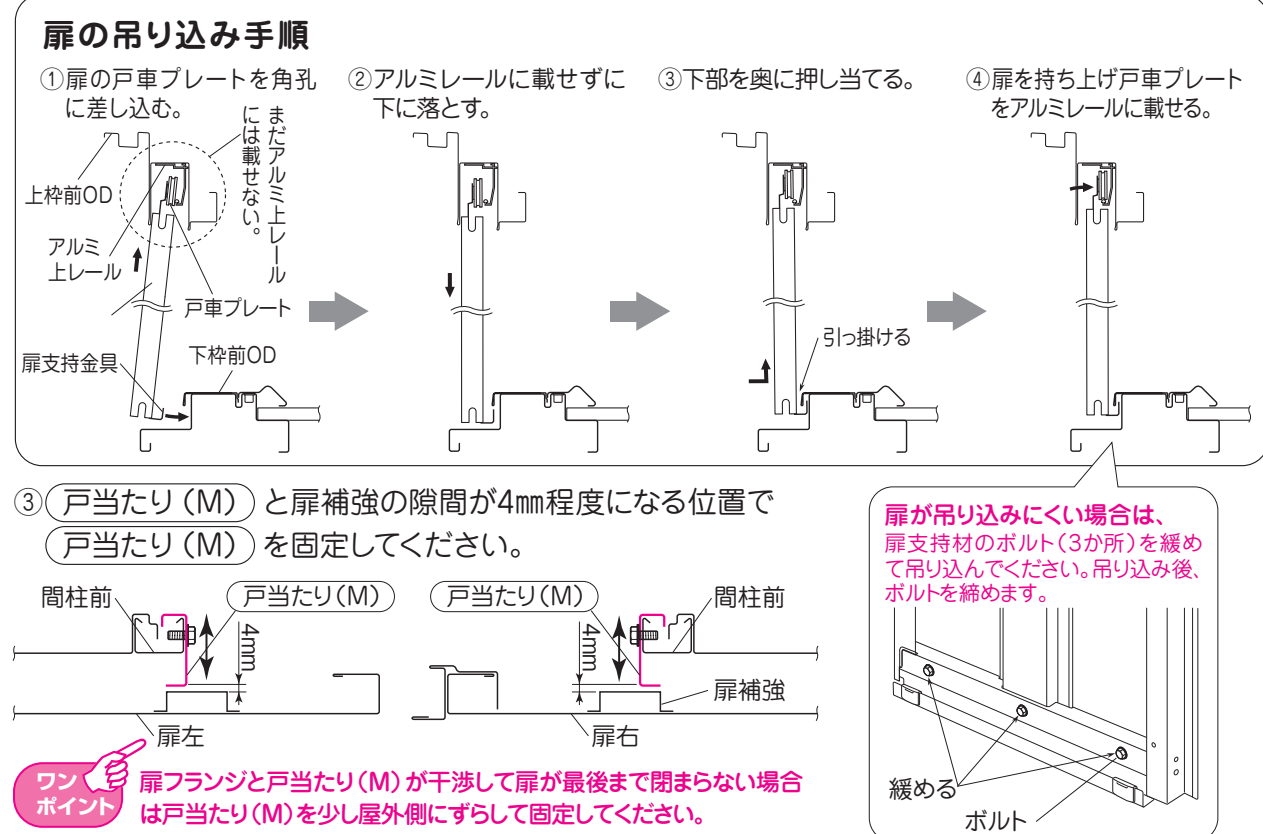


18 扉の吊り込み(1)

- ① 扉支持材ODを 扉右・扉左 に取付けます。

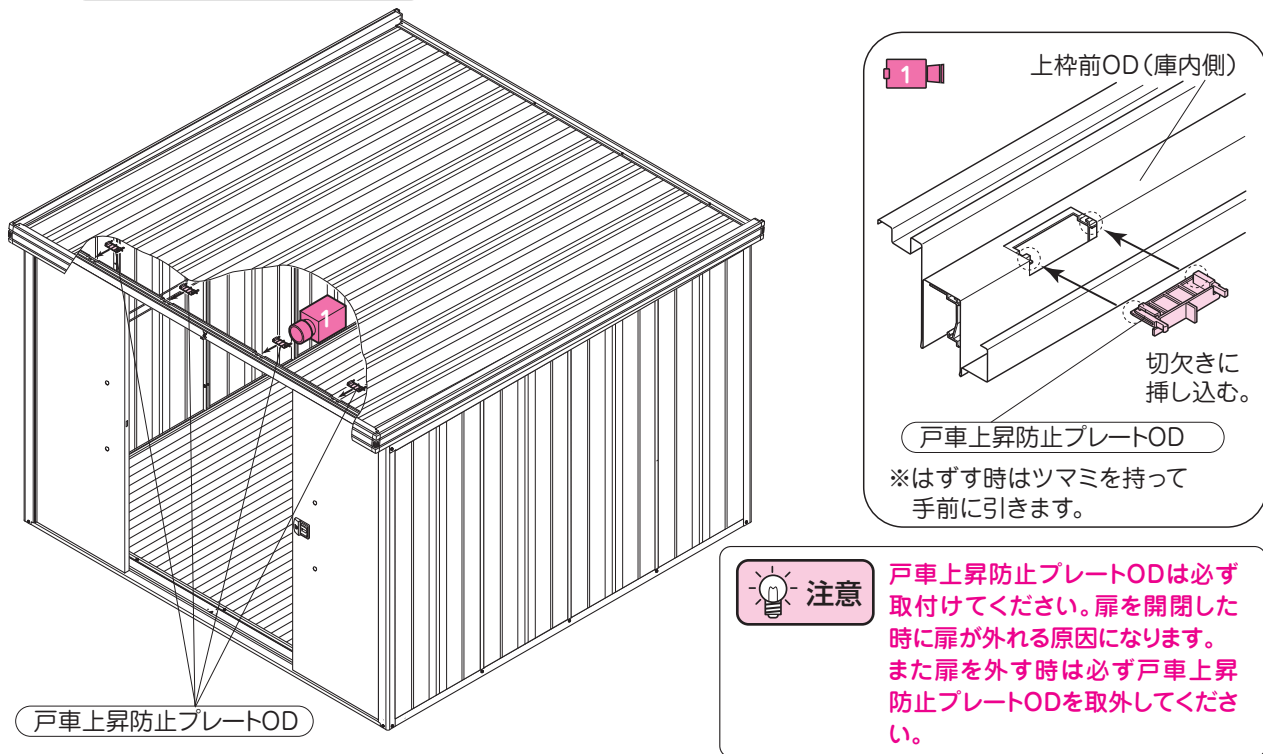


18 扉吊り込み(2)



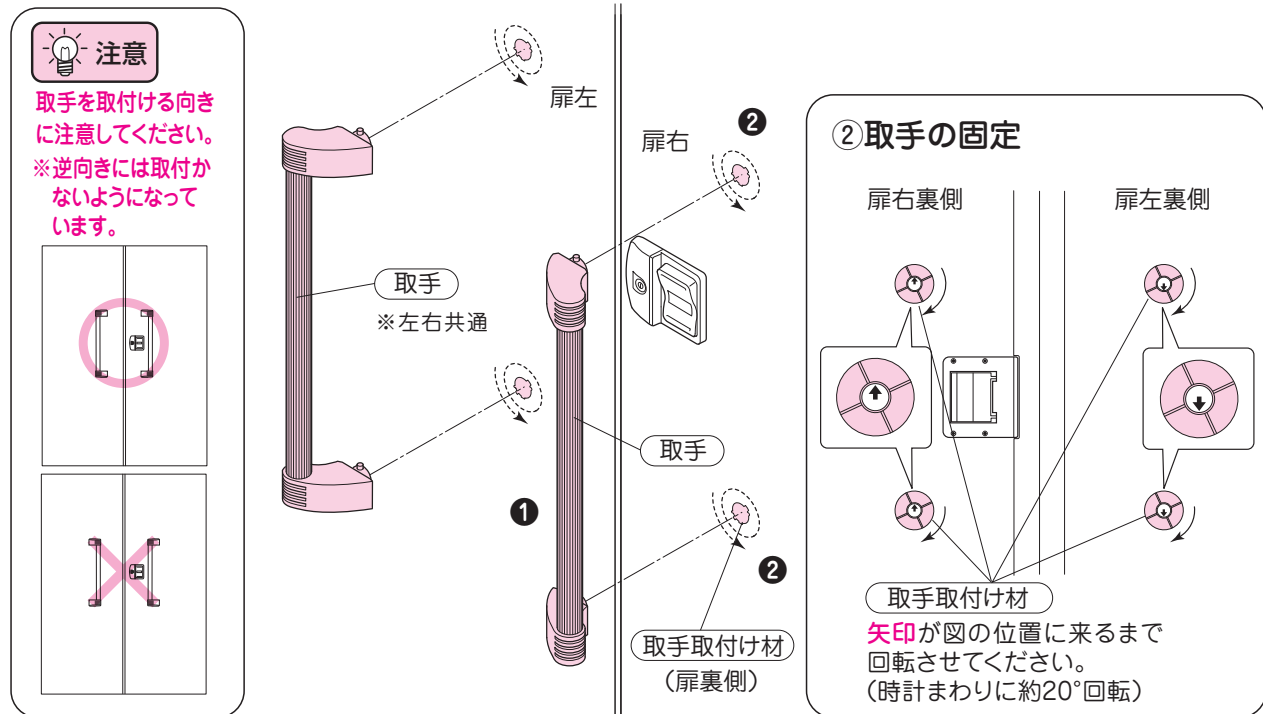
19 戸車上昇防止プレートの取付け

- ① 戸車上昇防止プレートODを上枠前ODに取付けます。(4か所) **1**



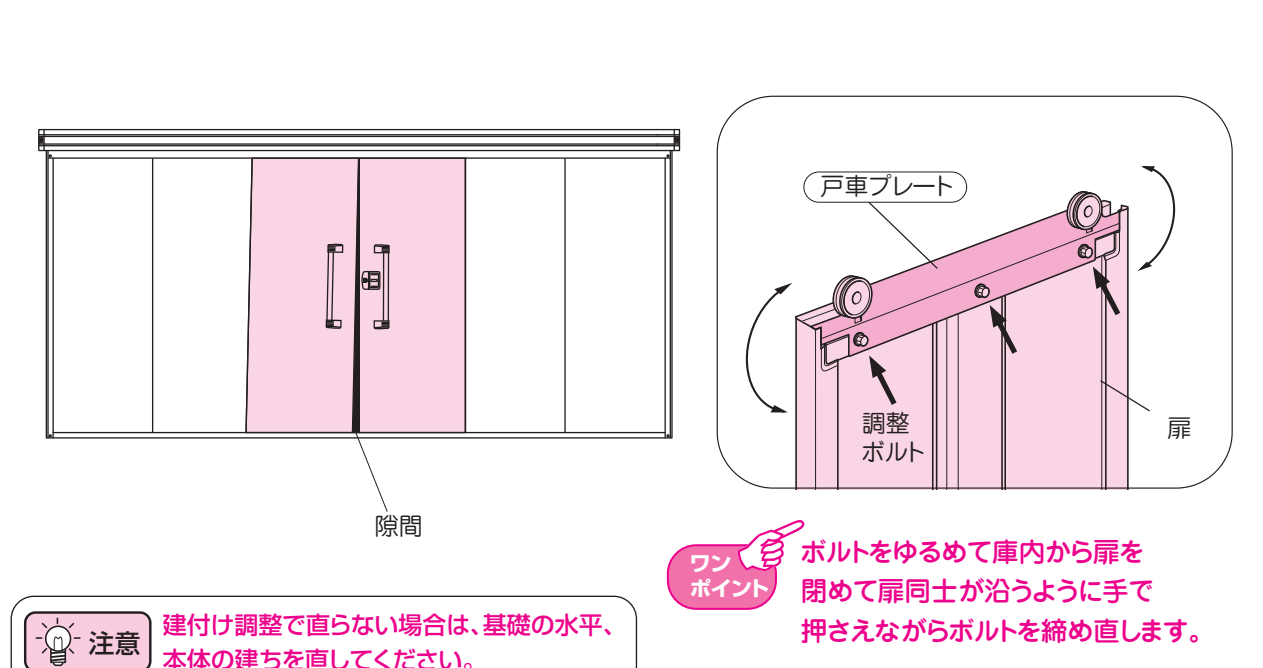
20 取手の取付け

- ① (取手)を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
②扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。



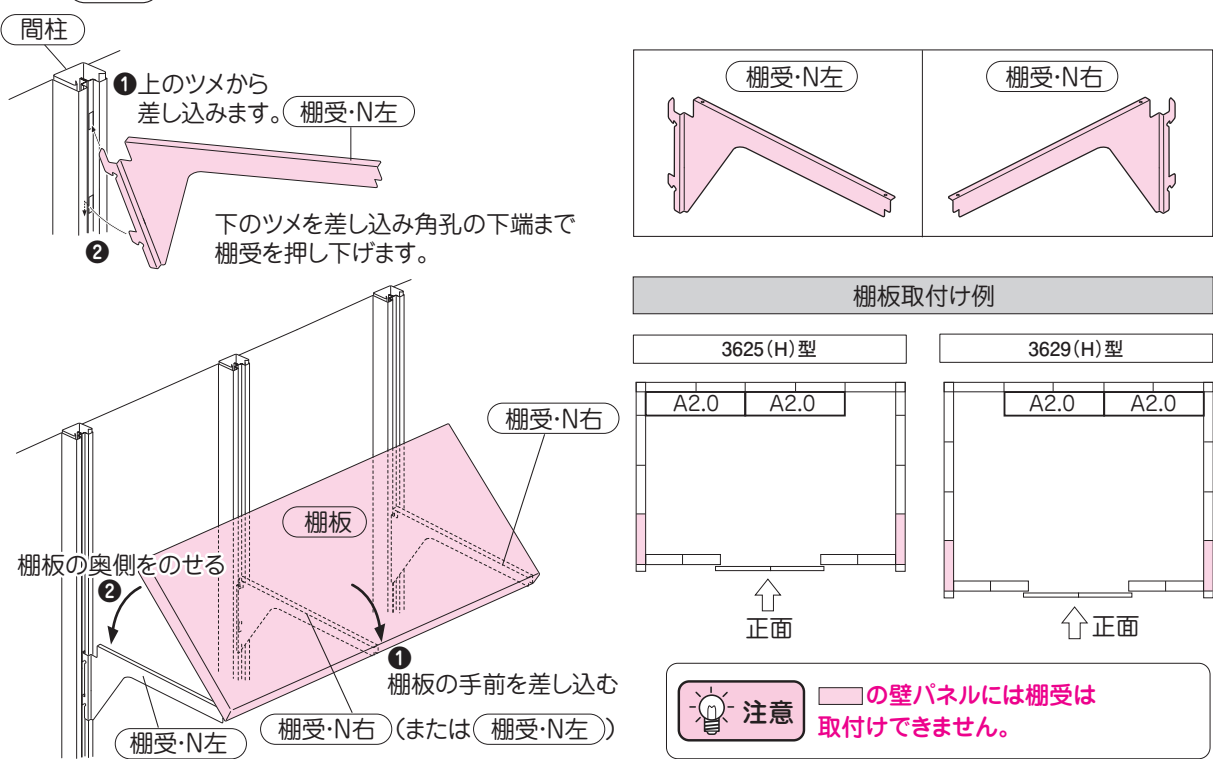
21 扉の建付け調整

- ①扉を閉めて扉右と扉左の隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



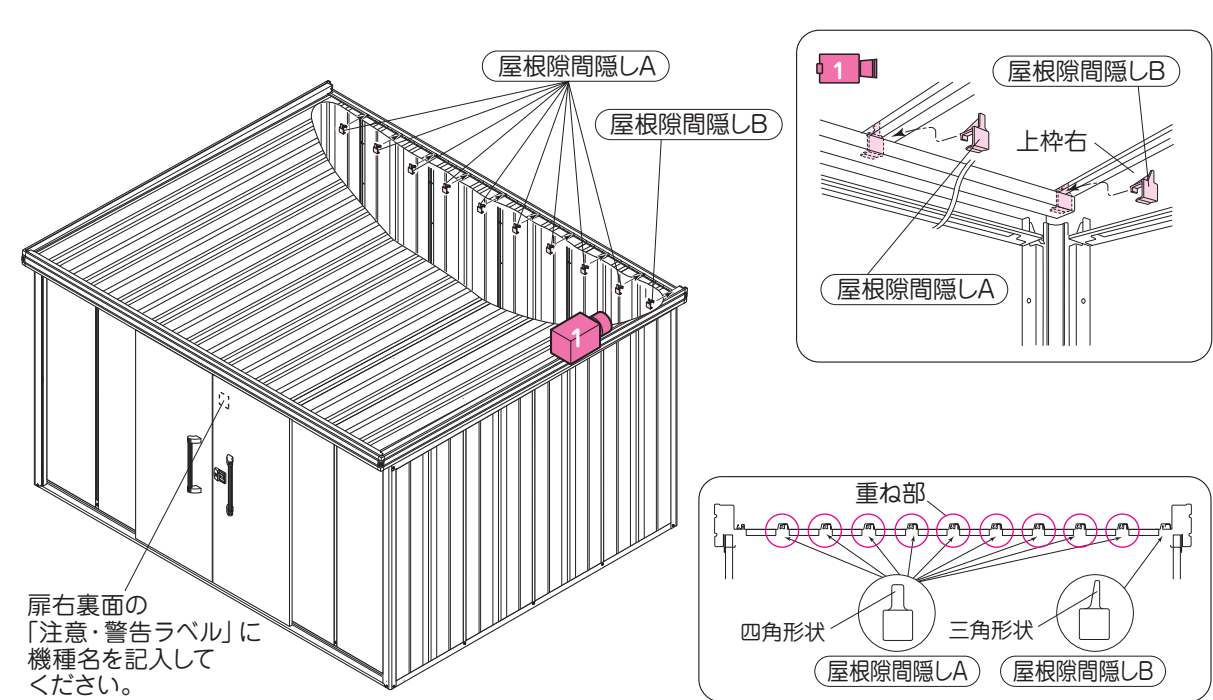
22 棚板の取付け

- ① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
② (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が4枚付いています。)

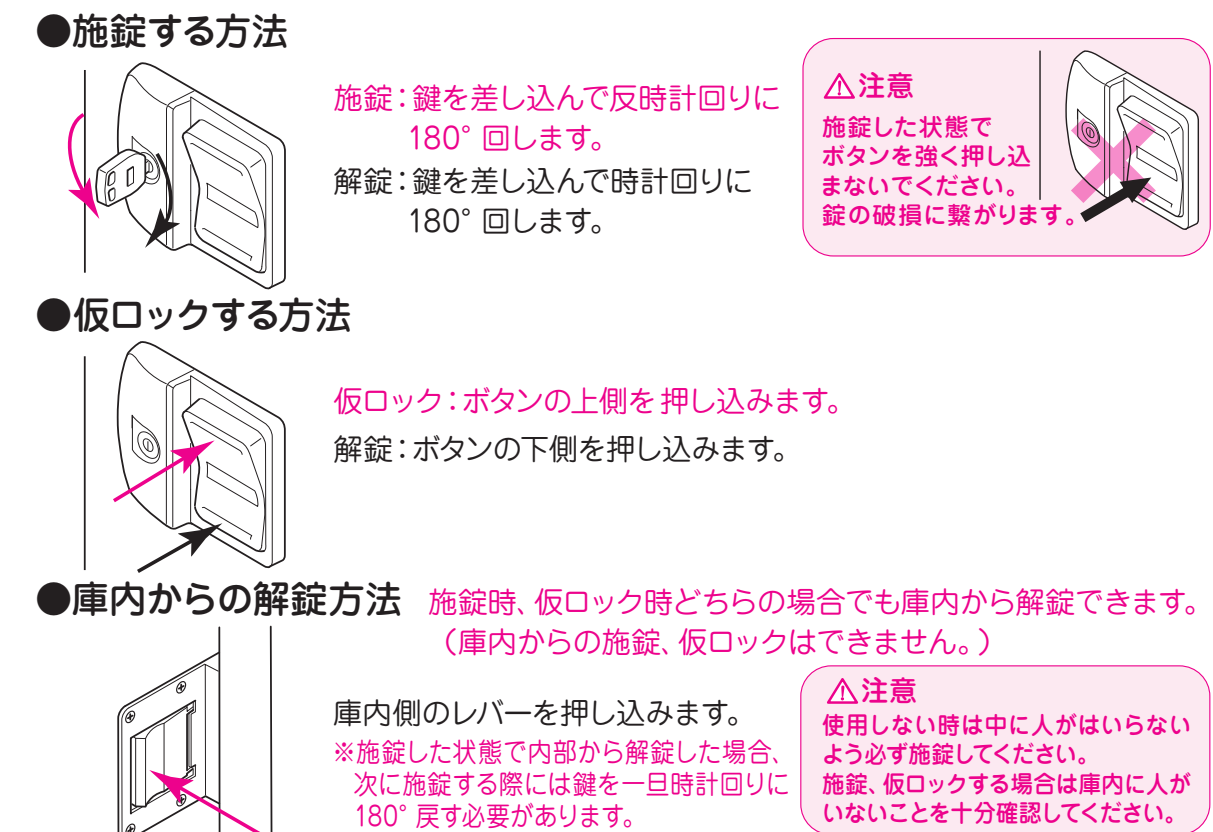


23 その他部品の取付け

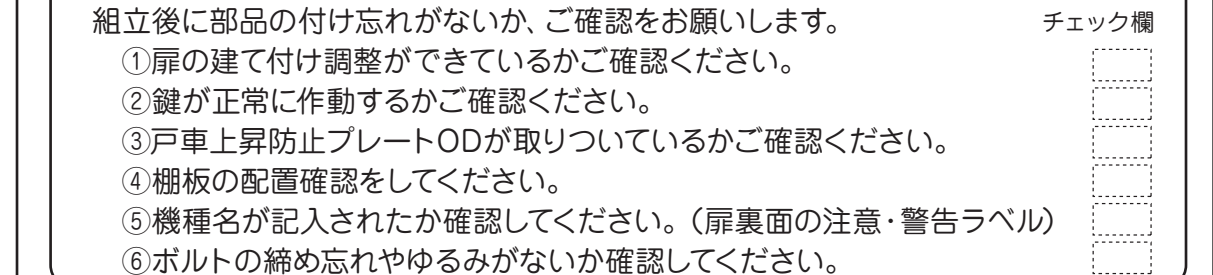
- ①扉裏面の注意・警告ラベルに「機種名」を記入します。
②「屋根隙間隔しA」を上枠後の屋根の重ね部に、「屋根隙間隔しB」を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**



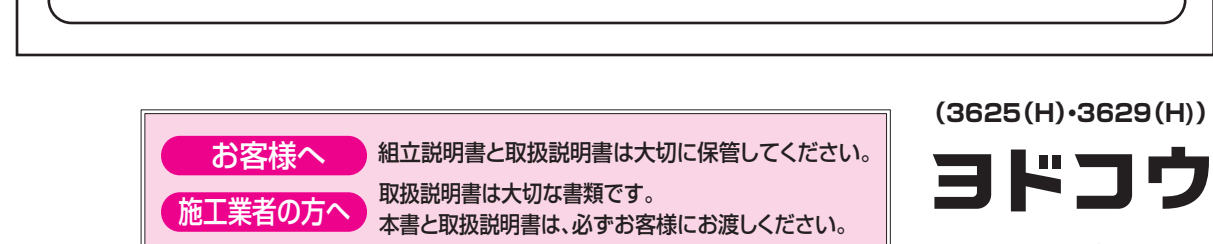
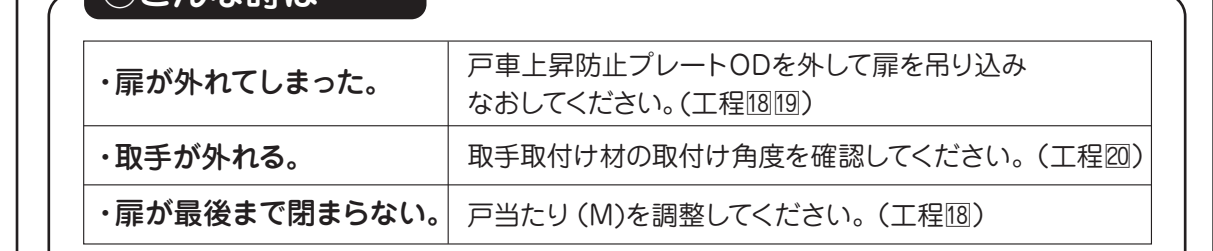
◆錠操作方法について



○組立てチェック



○こんな時は



(3625(H)・3629(H))

ヨドコウ

LMD-3625_KS_2025A